

府労組連ニュース

大阪府職員労働組合06-6941-3079 / 大阪教職員組合06-6768-2330

2020年11月12日
大阪府関連労働組合連合会

裏面に「秋季年末要求書」掲載

府当局、一時金(ボーナス)0.05月引下げ強行を表明 秋季年末要求を提出し、労働条件の改善めざし交渉強化へ コロナ禍の中、府民の命とくらし、教育を守るにふさわしい労働条件をつくろう



「期末手当の支給月数の見直しについて」提案の協議期限となった11月12日、府労組連は団体交渉を行い、府当局に対し、一時金引下げの撤回、非常勤職員の待遇改善をはじめ、コロナ禍での労働条件の改善を求めました。

交渉の冒頭では、今回の一時金引下げ提案が「コロナ禍での異例な取扱い」であることを確認し、あらためて、労働条件の改善を求める秋季年末要求を提出し、協議を行うことを確認しました。

**一時金を引下げる前に
昨年見送った分を回復せよ**

①昨年、府当局は一律3,300円の給与引上げを見送っており、それを年収に換算すれば、約6万円にも

なる。職員は一時金引下げ以上の削減を既にされているのと同じ。都合の良いときだけ「府人事委員会を尊重」とする取扱いには納得できない。一時金の引下げをやめるとともに、昨年の見送り分を回復すべき。

**非常勤職員の
均等待遇こそ必要**

②今年度より会計年度任用職員制度がスタートし、初めて一時金が支給されるが、期末手当しか支給されていない。にもかかわらず、非常勤職員の一時金まで引下げるとは、均等待遇を求める社会情勢にも反する行為であり、断じて容認できない。非常勤職員に勤勉手当に相当する支給を行うとともに、休暇制度等、その他の労働条件も含め、均等待遇を実現するよう求める。

**職員のモチベーションや
大阪経済にも悪影響**

③コロナ禍の中、職員・

教職員は懸命に奮闘している。知事部局では4月～9月に時間外勤務が100時間を超えて産業医面談を受けた職員が述べ420人にもほり、職員は文字通り身を削って府民の命と暮らしを守る最前線に立っている。小中学校では7時間授業を行ったりするなど、感染拡大に細心の注意を払いながら子どもたちの学びを保障する懸命の努力も続いている。

国の2次補正予算による教職員の加配措置において、政令市を除き185人の常勤職員が配置されるはずが9月1日現在、84人しか配置されておらず、養護教諭にいたっては14人中2人しか配置されていない。知事部局においても、専門職を中心に人の確保が困難になっている実態もある。

一時金引下げは身を削って懸命に奮闘する職員・教職員に冷や水をかけるものであり、容認しがたいものであると同時に、職員を確保・育成する点からも問題である。この間の賃金抑制策や他府県に例を見ない評価制度が職員の確保・育成に影響しているのは明らか。このままでは、府の行政水準、教育水準は低下の一途をたどると言っても過言ではない。

はない。

④大阪府は、今回の一時金引下げにとどまらず、これまで10年以上にもわたって賃金抑制を続けてきた経過がある。賃上げで個人消費を拡大してこそ、景気回復につながる。大阪は「成長している」かのような宣伝も繰り返されているが、実際はリーマンショック以降、経済成長率は全都道府県平均6%を下回り、大阪は4%へと落ち込んでいる。

職員・教職員が一丸となってコロナ対策に全力を注ぎ、府民の命とくらしを守り、子どもたちの安全な学びの場を確保するために、万全の体制を取ることが求められている。今すべきことは、一時金引下げではなく、人員体制の強化と安心して働ける職場環境の整備だ。

**秋季年末要求実現に向け
引き続き労使協議を確認**

府労組連の追及に対し、人事局長は「この間、健康医療部をはじめとする知事部局等の職員や学校教職員におかれましては、府民の安全・安心を確保するため、通常業務に加え、感染症対策や様々な支援業務にも日々全力で取り組んでいただいていることについて、この

場をお借りし改めて御礼申し上げます。府労組連との良き労使関係につきましては、これまでの経過を尊重し、双方の努力により築いてまいりたい。秋季年末交渉においても、職員の給与・勤務条件に関わる諸問題について、所要の協議を行ってまいりたい」と述べ、引き続き、労働条件改善に向けた協議を行うことを確認しました。

**安心して働き続けるために
労働組合に加入しよう**

一時金引下げ提案を撤回させることはできませんでしたが、府労組連は、残された諸課題の解決に向けて秋季年末要求書(裏面に掲載)を提出します。職場の声を背景に、引き続き折衝・交渉を強化し、全ての職員・教職員の給与水準引上げ、再任用職員と非常勤職員の待遇改善、災害時やコロナ禍でも十分対応できる職員体制の確立、安心して働き続けられる職場環境の整備をめざします。

働きやすい職場、安心して働き続けられる環境を作るには、みんなの労働組合加入が必要不可欠です。労働組合に入りましょう。